

高水準の安全性能・環境性能。

安全性能



コンパティビリティ対応構造を採用した高効率エネルギー吸収ボディ。

リアルワールドでの衝突安全を見据えたHonda独自のGコントロール技術により、「自己保護性能の向上」と「相手車両への攻撃性低減」を両立したコンパティビリティ対応ボディ。前方向からの衝撃に対し、ロアメンバーが相手車両の衝撃吸収部材とのすれ違いを防ぐとともに、衝撃をより広い面で受け止めることで、極めて高効率な衝突エネルギー吸収を実現し、キャビンへの負荷を大幅に低減しています。さらに、メインフレームから入力した衝突エネルギーを非衝突側のフロアフレームにも分散させる構造を採用。また、ハイテン材（高張力鋼板）をボディ骨格の適所に採用するなど、全方位からの衝突に対してエネルギー吸収効率の高い構造を実現しています。

頭部や脚部などに対する衝撃吸収構造を採用した、歩行者傷害軽減ボディ。

万の際、歩行者にダメージを与えやすいボディ前部に、衝撃をやわらげる構造を採用。ボンネット、ボンネットヒンジ部、フェンダー、ワイパー、バンパーを、衝撃吸収構造としています。

運転へのゆとりと、移動の安心をもたらす安全装備の数々。

【アクティブセーフティ】

- VSA（車両挙動安定化制御システム）（タイプ別設定）
- EBD付ABS
- ディスチャージヘッドライト（HID）（ハイ/ロービーム、オートレベリング/オートライトコントロール機構付）（タイプ別設定）

【パッシブセーフティ】

- 運転席用&助手席用SRSエアバッグシステム
- 前席用i-サイドエアバッグシステム（助手席乗員姿勢検知機能付）+サイドカーテンエアバッグシステム（前席/後席対応）（タイプ別メーカーオプション）
- 頭部衝撃緩和フロントシート ●頭部衝撃保護インテリア
- フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナーELRシートベルト
- リア3点式ELRシートベルト（中央座席は2点式マニュアル）
- 汎用型ISOFIXチャイルドシートロアアンカレッジ（リア左右席）+トッパテザーアンカレッジ（リア左右席）

環境性能

全タイプ、国土交通省「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定を取得。



「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車表示マーク
平成17年排出ガス規制のNMHC、NOxについて基準値を75%以上下回る優秀な環境性能を達成した車両に与えられます。

「平成22年度燃費基準+25%」を達成。

13 G/13 L (FF (CVT)), 15 X (FF), HYBRID



「平成22年度燃費基準+25%達成車」表示マーク
平成22年度燃費基準を25%以上上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。13 G/13 L (FF (CVT)), 15 X (FF), HYBRID



「平成22年度燃費基準+20%達成車」表示マーク
平成22年度燃費基準を20%以上上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。RS (CVT)



「平成22年度燃費基準+15%達成車」表示マーク
平成22年度燃費基準を15%以上上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。13 G (FF (5MT))



「平成22年度燃費基準+5%達成車」表示マーク
平成22年度燃費基準を5%以上上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。13 G/13 L (4WD), RS (6MT)



「平成22年度燃費基準達成車」表示マーク
平成22年度燃費基準を上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。15 X (4WD)

クルマ全体でリサイクル可能率90%以上*を実現。

*（新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン（1998年 自工会））に基づき算出。

リサイクル材の使用を推進。

日本自動車工業会の定める環境負荷4物質自主削減目標を達成。

鉛：2006年1月以降1996年レベルの1/10以下に削減
水銀：2005年1月以降使用全廃
六価クロム：2008年1月以降使用全廃
カドミウム：2007年1月以降使用全廃

福祉車両

助手席回転シートを設定。

（13 G、13 G-スマート セレクション、13 Lに設定 ※SMT車を除く）

- レバー操作で簡単に助手席を外側に回転
- 乗り降りしやすく、座り心地も快適な専用シート
- つま先がドアにあたりにくい、ゆとりの足もとスペース



シートが回転して乗降をサポートします
助手席回転シート車

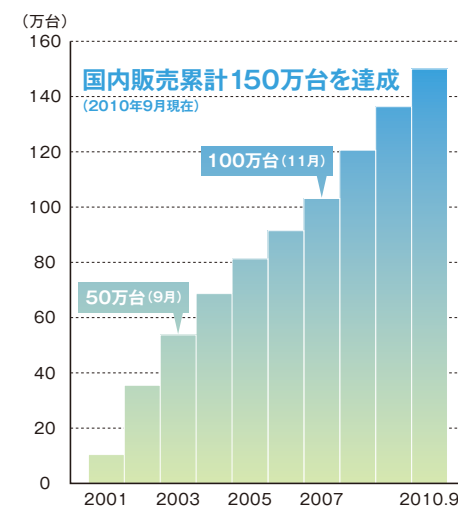


Photo: 13 G (FF (CVT))
ボディカラーはミラノレッド インテリアカラーはベージュ

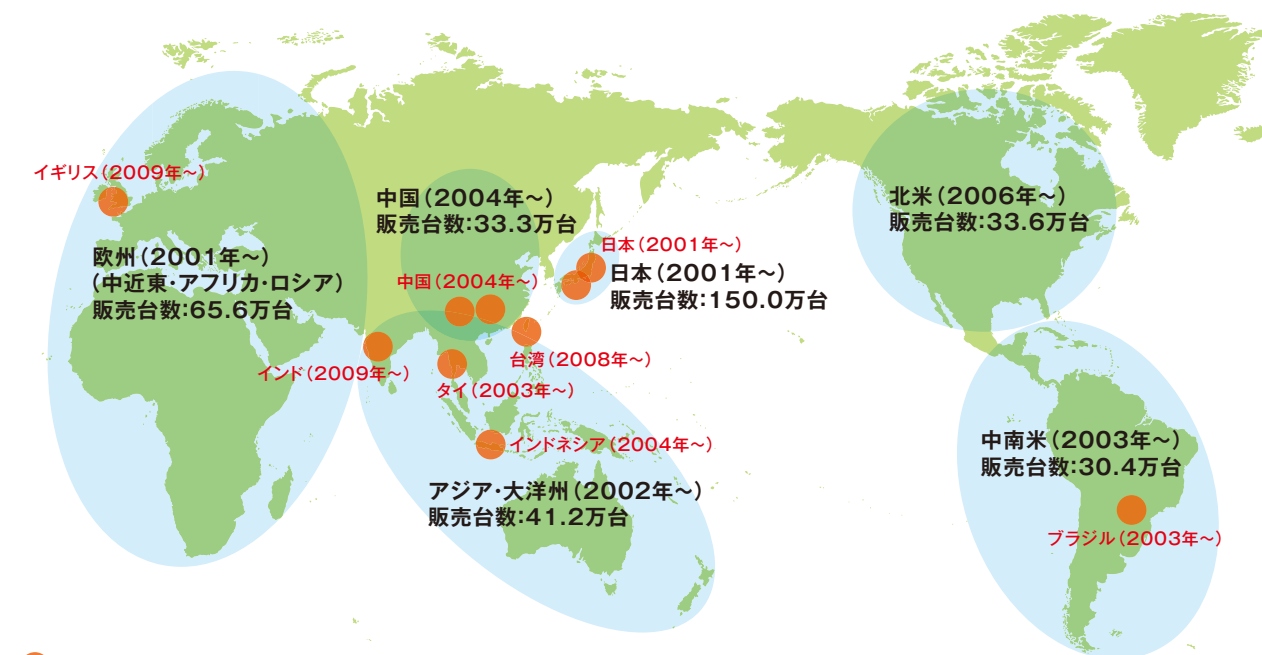
FITは、国内販売累計150万台をHonda最速で達成。 世界実績では生産10拠点、販売累計350万台以上に成長しています。

FITは初代モデルが誕生して以来、世界中の多くの人から支持されてきました。国内においては2010年9月に、発売から9年3ヶ月にして販売累計台数150万台を達成。シビックシリーズの15年を大きく上回る、Honda車では最速の実績となりました。一方海外では、初代誕生の2001年より、コンパクトクラスの本場といわれる欧州においても販売をスタート。以降も、アジア、中南米、中国、北米へと地域を広げ、2010年7月までに約115カ国で累計350万台以上が販売されています。また、海外での現地生産も積極的に展開。2003年にブラジル、タイ、翌年には中国、インドネシアへと年を重ねるごとにアジア圏や欧州にも拠点を広げ、2010年7月現在、日本を含む8つの国と地域・10拠点で生産され世界の各地域にデリバリーされています。Hondaは今後も、FITをもっともベーシックなグローバルカーにとらえ、いつの時代でも人々の暮らしを見据えた理想のスモールカーであるために、進化を続けていきます。（海外での車名はFITおよびJAZZ）

■国内販売実績



■世界生産・販売実績



●生産拠点: 8つの国と地域・10拠点 (2010年7月現在)

●販売地域および累計台数: 6地域・約115カ国/世界販売累計354.1万台 (日本2010年9月実績と海外2010年7月実績の合算)